

令和元年度 緑区運営方針

基本目標

次世代につなぐ みんなにやさしいまち
「ふるさと みどり」

緑区は 10 月に区制 50 周年を迎えます。区民・事業者・関係団体等の皆さまとともに、この節目の年をお祝いします。

区民の皆さまが大切にしてきた魅力あふれるこのまちを、子どもたちや地域の新たな担い手をはじめとする「次世代」に引き継いでいけるよう、共に様々な施策に取り組み、あらゆる世代の皆さまが快適で住み続けたいと思えるやさしいまち「ふるさと みどり」を目指します。



目標達成に向けた施策

安全・安心なまち

自助・共助による防災・減災、防火・防犯等、地域の特性に応じた区民の皆さまの主体的な取組を支援します。

また、災害対策本部機能の充実、食の安全、感染症予防・対応等に引き続き着実に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

いきいき暮らせるまち

子どもたちや子育て中の方、高齢者や障害者とその介護者、生活にお困りの方など、誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合うつながりのあるまちづくりを進めます。

また、健康寿命を延ばすための自主的な活動を支援します。

みどりの魅力あふれるまち

区制 50 周年を契機に、さらに魅力あふれるまちを目指し、次世代につなぐまちづくりを進めます。

また、豊かな自然や歴史的財産、活力ある都市農業や商業、文化・芸術・スポーツ活動など、緑区の様々な魅力の発信を強化していきます。

目標達成に向けた組織運営

● 区民満足度の向上

区民の皆さまに信頼していただける区役所を目指し、わかりやすい説明を心がけ、証明書等の発行、各種相談・支援等、基本的な行政サービスを引き続き適正かつ丁寧に行います。また、区民の皆さまの声を真摯に受け止め、ニーズを把握して区政・市政への反映に努めます。

● 地域との協働

全ての区役所職員が一丸となって、地域の自主的な課題解決や魅力づくりを支援します。また、自治会や関係団体、企業、大学、NPO など、様々な担い手と連携・協働しながら事業を実施します。

● チーム力の発揮

職員同士が連携して、地域課題や組織運営上の課題を自ら発見し、解決に向けて取り組むとともに、業務の効率化を図ります。

★次頁以降は基本目標等を具体化する事業のうち、緑区独自に予算編成を行った主な事業を中心に紹介しています。

参考 主な事業と区としての取組

1 安全・安心なまち

事業内容	区としての取組
◆災害に強いまちづくり	
●災害発生時に備え、地域防災の核となる人材を育成するとともに、地域防災拠点の機能強化を支援します。	○資機材取扱い講習会、地域防災拠点備蓄資機材の保守点検・修繕(全拠点、年2回) ○防災講演会(3月) ○地域防災拠点等における避難所開設の図上訓練等の支援 ○医療救護隊・保健活動グループの訓練と研修(年1回)
●防災関係機関との連携強化、区災害対策本部の機能強化等に引き続き取り組みます。	○危機管理研修及び区本部運営訓練(9月、1月) ○帰宅困難者一時滞在施設と関係機関との意見交換会(11月)
●区民の皆さまに、防災・減災に関する情報をわかりやすくお伝えします。	○小学生を対象にした減災マップ作りワークショップ ○中学校での防災講演 ○町の防災組織に対する防災出前講話等による啓発 ○災害時医療のぼり旗掲出訓練(年1回)
◆安全・安心な環境づくり	
●地域における自主的な防犯活動を支援します。	○防犯パトロール物品の提供 ○振り込め詐欺、自転車盗難防止キャンペーン ○子ども向け防犯ワークショップ、防犯リーダー養成講座(11月)
●地域や関係団体と連携し、自転車の交通ルール遵守等の交通安全の意識向上を図る取組を進めます。	○高齢者向け交通安全教育(1月) ○自転車の交通ルール遵守に向けた啓発活動(5月、3月)
●道路や下水道・河川・公園について、点検や修繕などの適切な維持管理と道路改良を行います。また、引き続き通学路の安全対策に取り組みます。	○中山二丁目地区の速度抑制対策(3月)【新規】 ○通学路の安全対策の実施(12月) ○梅田川・岩川の流れ確保のため、河床土砂の除去(3月) ○環状4号線のサクラの植え替え(3月)
◆暮らしの衛生の推進	
●飲食店従事者や区民の皆さまに、食品衛生知識の普及啓発を行います。	○食品衛生講習会等を通じて、食中毒予防や自主衛生管理に関する取組を促進 ○食品衛生や正しい手洗い方法の普及啓発
●災害時にペットが周囲に迷惑をかけないようにするため、日常的なしつけの普及啓発を行います。	○犬のしつけ方教室等 ○区民に向けたペット同行避難についての講演会(6月)
●健康や住環境に影響を及ぼす昆虫等への適切な対応についての啓発を行います。	○衛生害虫等注意喚起講座(1回)

2 いきいき暮らせるまち

事業内容	区としての取組
◆「みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進	
●第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」(平成 28～32 年度)の実現に向けた取組を進めるとともに、次期計画策定に向けた取組を始めます。	○区計画推進委員会(年3回) ○地区代表者連絡会(年1回) ○地区別計画推進委員会(11地区・各地区2回以上) ○区制50周年記念 ささえ愛プラン講演会の実施(7月) ○区民アンケート、関係団体ヒアリング
◆妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援	
●地域全体で子育てを見守る環境づくりを進めます。また、家庭の子育て力を高める場や仲間づくりの場を提供するとともに、子育てに関する情報を提供します。	○関係機関・団体とのネットワークの活性化を図る「みどり子育て支援連絡会」(2回) ○児童虐待の防止に向けた要保護児童対策地域協議会(実務者会議1回、地区別連絡会4回) ○こんにちは赤ちゃん訪問等 ○母親教室・両親教室・赤ちゃん教室等 ○みどり子育て応援ガイドブックやホームページ等を活用した積極的な情報提供
●区内保育施設等のネットワークの構築を進め、保育の質の向上と地域子育て支援の推進を図ります。	○みどりっこまつり(1回) ○「赤ちゃんの駅」(23か所)を地域に開放 ○離乳食ランチ交流事業の実施や、「子育て支援事業施設連絡会」の開催
●保育に関する相談・情報提供やきめ細かい利用調整により、待機児童対策を進めます。	○多様な保育サービスに関する情報提供 ○保育所等利用説明・個別相談会(10月)

●いわゆる「小1の壁」を乗り越え、小学校就学後の子どもたちが豊かな放課後を過ごせるよう、放課後の居場所づくり等を進めます。	○はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に関する調整 ○放課後児童クラブの運営支援 ○放課後の居場所に関する出張相談(10月～11月)
●学校・家庭・地域の連携を進め、将来の地域を担う次世代の育成を支援します。	○大学との連携により、学習・体験の機会の充実を図るため、中学生等キャンパスチャレンジ事業を実施
◆地域における青少年の育成	
●次世代を担う青少年の育成に向け、関係団体との連携や取組支援を進めます。また、「夢みどり 50プラン」の集大成に向けて、小中学校と連携して取組を進めます。	○小中学校代表児童・生徒による会議の開催(8月) ○区民まつりにおける小中学生のボランティア体験(10月) ○青少年指導員による青少年対象の防災啓発イベント(11月) ○区内の市民活動団体等による青少年育成活動の支援
◆高齢者・障害者施策の推進	
●住み慣れた地域で医療、介護等が切れ目なく提供できるよう、地域包括ケアシステムの構築を図ります。	○地域包括支援センター、地域関係者、介護事業所、医療機関等による地域ケア会議・研修等 ○地域包括支援センターと連携したエンディングノート普及啓発
●介護予防の普及啓発や、元気づくりステーションなどの地域の活動支援を行います。また、地域における認知症の理解を促進します。	○地域の生活支援・介護予防サービスの活動支援 ○緑区元気づくり活動発表会(11月)、各種講座 ○介護者支援研修会、認知症普及啓発の推進、認知症サポーター養成講座
●障害者の社会参加や生きがいづくりの場の充実、区民の障害理解を促進します。	○障害者通所施設のネットワークの強化 ○自主製品の共同販売の推進、販路拡大への支援 ○区制50周年緑区オリジナル製品の販売支援
◆生涯にわたる健康づくりの推進	
●区民の皆さまの生涯にわたる健康づくり、健康寿命の延伸に向けた取組を、福祉・保健に関連する団体等と協働で行います。	○思いやり、健康づくりの日(健康チェック9回、ウォーキング6回) ○健康づくり月間イベント、講演会(10月) ○地域における若年層の生活習慣病予防講座(4回) ○ウォーキング関連イベント(12月)、ウォーキングイベント等の情報発信
●「食」に関する正しい知識を持ち、「食」を通じた健康づくりを実践できるよう、食育の取組を推進します。	○食育月間イベント・講演会(6月) ○学校、企業、関係機関等と連携した、栄養診断システムを用いた体験型食育ミニ講座を幅広い対象に実施
◆暮らしのなかのセーフティネット	
●ひとり暮らし高齢者等への地域の見守り活動を推進します。	○民生委員・児童委員による75歳以上のひとり暮らし高齢者等への訪問及び希望した高齢者への電話による安否確認の活動支援 ○民生委員・児童委員及び主任児童委員の一斉改選(12月)
●生活保護受給世帯など生活困窮者の自立に向けて、困難を抱える子どもの学習支援や、就労支援を行います。	○寄り添い型学習支援事業の実施 ○高校生等への自立支援の取組 ○ハローワーク(ジョブスポット)と連携した、一体的な就労支援
●家庭内をはじめ暮らしの中で起こる悩み事や心配事について専門家が対応します。	○法律相談、司法書士相談、行政書士相談、税務相談、女性の福祉やひきこもり等に関する相談等
◆信頼される窓口サービスの実現	
●区民生活に関わりの深い戸籍・住民登録・税金・保険年金等の制度を適切に運用します。また、個人情報保護の徹底するとともに、わかりやすい説明を心がけるなど、窓口サービス向上に努めます。	○正確・迅速・丁寧な窓口対応 ○快適な窓口環境の整備 ○マイナンバーカードの適正な管理 ○年金・保険・特定健診制度等の窓口説明方法の工夫

3 みどりの魅力あふれるまち

事業内容	区としての取組
◆区制50周年プロジェクト	
●区制50周年を、区民・事業者・関係団体等の皆さまとともに祝いする事業を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <緑区制50周年記念事業実行委員会事業> ○子どものまちづくりイベント(8月)【新規】 ○わらアートの制作・展示(8～11月)【新規】 ○緑区民まつり(10月)※緑区民まつり実行委員会と共催 ○緑区制50周年記念誌の発行(3月)【新規】 ○記念式典・講演会・記念祝賀会(10月)

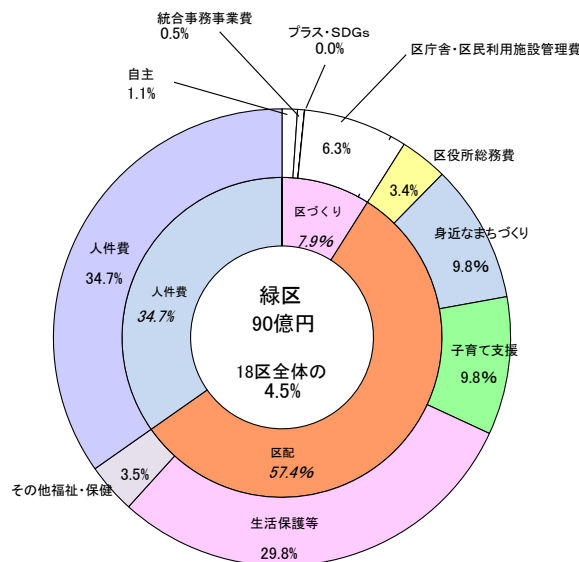
●区制 50 周年を、区民・事業者・関係団体等の皆さまとともに祝いする事業を行います。	<p><区事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○今昔写真展(4月) ○出生・婚姻届出時にお祝いメッセージカードを配付(～12月) ○小中学生による壁画作成(12月)【新規】 ○街路樹を区民の皆さまと共に植樹(12月)【新規】 ○小学生によるデザインのマンホールを設置(12月)【新規】
◆みどりの魅力を活かした地域活性化	
●緑区の「農」の魅力を広く発信することで、地産地消を進め、農業の振興を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○区庁舎内直売所(週2回)やJAと共催で行う直売会(年6回) ○Facebook や動画を活用した農の魅力の発信 ○地産地消交流会(4回)、地産地消講座(3回)
●商店街の魅力をより身近に感じていただくため、消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援します。	○緑区商店街ポイントラリー(10月)
●区の新たな魅力や将来に残したい魅力を発掘・再発見し、区内外に広く発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生向けフォトワークショップ(5月) ○「緑区遺産」の登録・PR(通年)、ウォーキングイベント(12月) ○「みどり こども新聞」の発行(年3回程度)
●里山ガーデンフェスタのゲートタウンとして、イベントを盛り上げます。	○緑区のPRブース開設、様々な機会を通じた区民の皆さまへの周知(4～5月、9～10月)
◆スポーツを通じた地域づくり	
●「ラグビーワールドカップ 2019」及び「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」開催に向けて機運を高めるとともに、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○様々なスポーツに触れる機会の提供やトップアスリートと連携したイベントの開催 ○区内イベントにおける両大会の開催PR ○スポーツ推進委員、緑区体育協会等の活動支援 ○商店街と連携したスポーツ振興
◆区民による文化活動の振興	
●区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、緑区民文化センターと連携した事業等を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○緑・芸術祭イベントの実施・支援 ○提案型ロビーイベントの開催(年4回)
◆環境行動の推進	
●区民の皆さま・事業者・行政が協働して、3Rの取組や脱温暖化行動を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所・小中学校・地域等への3R夢出前講座(20回) ○大型店舗での店頭啓発(4回)
●自治会やボランティアの皆さまと連携し、3R夢プランの周知や外国籍住民向けの分別啓発を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ○緑 ECO 通信の班回覧(年2回) ○外国籍住民説明会の実施
●地域の皆さまと協働で清掃活動や沿道緑化等の取組を行い、ごみを捨てにくい環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ○花いっぱい活動(2回) ○駅前周辺ポイ捨て禁止キャンペーン(6回)
●公園や道路の良好な環境づくりを地域の皆さまと協働で推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○ハマロードサポーター交流会(10月) ○公園愛護会のつどい(11月)
◆地域の現状を踏まえたまちづくり	
●区の望ましい将来像の実現に向け、課題の解決や魅力の向上など、地域の皆さまと協働で取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ○住民主体のまちづくりの支援 ○空き家、空き店舗を活用した地域活動の拠点やサロン等の設置、地域花壇・菜園などの整備支援 ○自治会等の要請に基づく専門家の派遣
◆地域力の推進と市民活動の支援	
●地域の課題解決や魅力づくりに向け、自主的な活動への支援や地域活動の担い手の育成、自治会や活動団体と協働した取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○地区連合単位の“地域について考える場”の開催支援 ○みどり「ひと・まち」スクールの実施(6～10月) ○地域課題チャレンジ提案事業(交流会開催12月、次年度募集12月)
●自治会活動の担い手が増え、より活発な地域活動が行われるよう、加入促進に向けた取組を進めます。	○自治会未加入世帯への加入促進策の実施
●市民活動や地域活動の一層の活性化に向け、「みどり一む」運営委員会との協働による事業を企画・実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ○区民向け講座の企画・運営 ○区内施設間で情報共有し、連携を進めるための会議(年2回) ○未来のみどり一むを考える「みどり一むネクスト」において、テーマごとにこれからのあり方を検討
●「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで、多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるよう、取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ○ミニ絵本ひろばの開催(5月) ○読書活動推進に向けた講演会 ○区内読書関連施設との連携促進

緑 区に係る予算のすがた（令和元年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆7,615億円です。

緑区の予算規模は約90億円となっており、18区全体の予算の4.5%を占めています。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約7億円となっており、緑区に係る予算の約8%となっています。



(単位:百万円)

	予 算	割 合
個性ある区づくり推進費	712	7.9%
自主企画事業費	98	1.1%
統合事務事業費	43	0.5%
温暖化プラス事業 区SDGs未来都市推進事業	1	0.0%
区庁舎・区民利用施設管理費	570	6.3%
区配付予算	5,169	57.4%
区行政運営	401	4.4%
身近なまちづくり	883	9.8%
子育て支援	880	9.8%
生活保護等	2,687	29.8%
その他福祉・保健	319	3.5%
人件費	3,132	34.7%
合 計	9,014	100.0%

注:各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

主 な 事 業 内 容

(単位: 百万円)

分類	R1予算	H30予算	差引	説明
個性ある区づくり推進費	712	693	19	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	98	97	1	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	43	24	19	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
温暖化プラス事業 区SDGs未来都市推進事業	1	1	0	区役所や地域における温暖化対策の取組や、区役所が地域特性を生かした事業を提案し、SDGs未来都市を推進するための事業費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	570	572	-2	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	5,169	5,484	-315	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	401	350	51	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	62	69	-6	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	13	0	「広報よこはま」や「県のとより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	5	10	-5	各種統計調査を行うための経費です。
その他	320	258	62	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	883	1,006	-124	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 969 百万円
道路修繕費等	594	760	-165	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	107	65	42	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(86)	(86)	0	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	182	182	0	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	880	947	-67	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	347	298	49	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。市立保育所4箇所の運営経費
放課後児童健全育成	356	328	29	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。(11箇所)
その他	176	321	-145	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	2,687	2,864	-178	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	2,664	2,843	-179	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。(対象見込み世帯2,077世帯 平成31年年3月1日時点)
生活困窮者自立支援	22	21	1	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	319	317	2	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	135	139	-4	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	27	27	1	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	157	151	6	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,132	3,140	-8	
職員人件費	3,132	3,140	-8	総務局人事部労務課公表「平成31年度職員人件費予算の目安」より
合 計	9,014	9,317	-303	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 9,100 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
緑	1	地域住民共助の地域交通(ボランティアバス)への支援について	1 本格運行にあたり、地域で調達することが困難な経費を補助金として交付 2 他地区でも展開していくため、実証運行を始めとした支援制度の創設	道路局	○
緑	2	空き家を地域の活動拠点として活用するための制度の構築について	1 地域向け空き家活用ガイドラインの作成 2 地域が活動拠点に使用する空き家の固定資産税・都市計画税の減免制度の創設	建築局	○
緑	3	都市計画道路の整備促進について	1 長津田駅南口線の用地取得及び本格整備 2 山下長津田線(鴨居地区)の用地取得及び整備 3 中山北山田線(中山地区)の早期事業化	道路局	○

令和元年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

緑 区



令和元年度 個性ある区づくり推進費 予算 事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R1予算	H30予算	増△減	所管課	ページ
自主企画事業							
① 安全・安心なまち			13,615	13,476	139		
1	災害に強いまちづくり事業	重点	7,410	7,587	△ 177	総務課・福祉保健課	4
2	安全・安心まちづくり推進事業		1,760	1,430	330	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		2,696	2,700	△ 4	地域振興課	5
4	暮らしの衛生推進事業		1,749	1,759	△ 10	生活衛生課	6
② いきいき暮らせるまち			24,450	21,087	3,363		
5	健康たうん・みどり推進事業		2,930	3,115	△ 185	福祉保健課	8
6	みどり食育実践推進事業		1,609	1,109	500	福祉保健課	8
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業		5,414	2,296	3,118	福祉保健課	9
8	あんしん子育てネットワーク事業		7,533	7,327	206	子ども家庭支援課	10
9	保育所すこやか子育て支援事業	重点	2,721	2,243	478	子ども家庭支援課	11
10	DV対策・児童虐待防止事業		745	845	△ 100	子ども家庭支援課	12
11	中学生等キャンパスチャレンジ事業		35	70	△ 35	子ども家庭支援課	12
12	青少年地域サポート事業	一部移行	859	859	0	地域振興課	12
13	高齢者生きがい推進事業		432	432	0	高齢・障害支援課	12
14	地域のささえ愛事業		449	420	29	高齢・障害支援課	13
15	高齢者あんしんサポート推進事業		578	353	225	高齢・障害支援課	13
16	障害者自主製品販売支援事業		545	415	130	高齢・障害支援課	13
17	高校生等自立支援事業 【前年度:子どもの自立を支える地域ネットワーク事業】		600	600	0	生活支援課	14
△	緑区ふれあいあんしん推進事業	終了	0	503	△ 503	福祉保健課	-
△	福祉保健データ集作成事業	終了	0	500	△ 500	福祉保健課/高齢・障害支援課	-
△	学校・家庭・地域連携事業	移行		-		子ども家庭支援課	-
③ みどりの魅力あふれるまち			59,808	46,193	13,615		
18	緑区制50周年記念事業 【前年度:緑区制50周年準備事業】	重点	12,532	3,500	9,032	区政推進課	15
19	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業		700	700	0	戸籍課	15
20	住み続けたいふるさと緑区事業	新規・重点	11,000	0	11,000	土木事務所	15
21	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業 【前年度:親しまれる水辺環境づくり事業】		2,340	2,000	340	土木事務所	16
22	魅力ある公園づくり事業		450	900	△ 450	土木事務所	16
23	みどり!まるごと応援事業		3,415	4,833	△ 1,418	区政推進課	16
24	みどり地域まちづくり推進事業		1,928	1,730	198	区政推進課	17
25	読書活動推進事業		300	300	0	地域振興課	17
26	子ども達の夢の緑区推進事業		1,314	1,314	0	地域振興課	18
27	緑・芸術文化事業		2,523	1,923	600	地域振興課	18
28	3R推進事業		2,146	1,850	296	地域振興課	19
29	きれいなまちづくり事業	一部移行	2,151	2,572	△ 421	地域振興課	19
30	足を運んでみよう!商店街事業		1,308	500	808	地域振興課	20
31	区民まつり事業		4,900	4,900	0	地域振興課	20
32	地域振興事業		1,935	1,935	0	地域振興課	21
33	市民活動パワーアップ支援事業		2,872	2,868	4	地域振興課	21
34	みどりスポーツ振興事業	一部移行	1,981	1,846	135	地域振興課	22
35	広報・広聴事業 【前年度:区民への情報提供事業】	一部移行	1,881	1,796	85	区政推進課	23
36	区民から親しまれる区役所づくり事業		4,132	3,488	644	総務課	23
△	次世代プロジェクト	終了	0	2,653	△ 2,653	区政推進課	-
△	スマートイルミネーション	終了	0	4,500	△ 4,500	区政推進課	-
△	区民の声把握事業 ※統合事業費に一部移行	終了	0	85	△ 85	区政推進課	-
△	消費生活推進事業	移行		-		地域振興課	
△	統合事業費移行分		-	16,052	△ 16,052		
自主企画事業費 計			97,873	96,808	1,065		
SDGs未来都市推進事業							
	SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業		1,000	1,000	0	区政推進課	24

「一部移行」、「移行」は統合事業費へ

令和元年度 個性ある区づくり推進費 予算 総括表

[単位：千円]

区 分	R1予算	H30予算	増△減
1 自主企画事業 (36事業)	97,873	96,808	1,065
(1) 安全・安心なまち (4事業)	13,615	13,476	139
(2) いきいき暮らせるまち (13事業)	24,450	21,087	3,363
(3) みどりの魅力あふれるまち (19事業)	59,808	46,193	13,615
統合事業費移行分	-	16,052	△ 16,052
【重点政策事業】 4事業 総額 33,663千円			
◆災害に強いまちづくり事業	7,410千円		
* (1) で計上			
◆保育所すこやか子育て支援事業	2,721千円		
* (2) で計上			
◆緑区制50周年記念事業	12,532千円		
* (3) で計上			
◆住み続けたいふるさと緑区事業	11,000千円		
* (3) で計上			
2 統合事務事業費	43,310	23,958	19,352
(1) 統合事務費	23,878	23,958	△ 80
(2) 統合事業費	19,432	0	19,432
3 区庁舎・区民利用施設管理費	570,046	571,722	△ 1,676
(1) 区庁舎等	98,013	107,903	△ 9,890
(2) 地区センター等	418,082	413,147	4,935
(3) 公会堂	41,499	39,337	2,162
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	6,347	5,230	1,117
(5) その他(広場・遊び場)	6,105	6,105	0
4 SDGs未来都市推進事業	1,000	1,000	0
SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業	1,000	1,000	0
合 計	712,229	693,488	18,741

【参考】緑区制50周年事業一覧

会議資料の該当事業に **50** マークを付けています。

[単位:千円]

No.	事業名	細目事業等(33事業)	金額
18	緑区制50周年記念事業	参加型アートイベント「わらアート(仮称)」 子どものまちづくりイベント 緑区制50周年記念誌事業 50周年PR関連費 緑区制50周年記念事業実行委員会	12,532
19	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業	記念品作成	700
20	住み続けたいふるさと緑区事業	ふるさと緑区壁画事業 ふるさと緑区植樹事業 ふるさと緑区デザインマンホール設置事業	11,000
緑区制50周年事業 小計			24,232
2	安全・安心まちづくり推進事業	親子で防犯ワークショップ開催支援	330
5	健康たうん・みどり推進事業	健康づくり月間事業 思いやり健康づくりの日 ミドリンウォーキング	1,492
6	みどり食育実践推進事業	食育月間キャンペーン	480
7	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業	地域福祉保健計画推進事業	601
9	保育所すこやか子育て支援事業	あつまれ！みどりっこまつり	956
16	障害者自主製品販売促進支援事業	商品の魅力アップや新製品の開発検討 共同販売の推進	95
23	みどり！まるごと応援事業	みどり！魅力再発見事業	621
26	子ども達の夢の緑区推進事業	学校の取組支援事業 ふれあい交流事業	1,314
27	緑・芸術文化事業	地域文化振興	2,410
30	足を運んでみよう！商店街事業	緑区商店街ポイントラリー	1,308
31	区民まつり事業	区民まつり	4,900
33	市民活動パワーアップ支援事業	市民活動セミナー等の開催 市民活動団体交流事業の開催 地域の国際交流事業の開催 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催 緑区地域施設間連携会議	1,925
34	みどりスポーツ振興事業	ラグビーW杯、オリンピック・パラリンピック連携事業	670
36	区民から親しまれる区役所づくり事業	人権啓発・職員研修事業 緑区表彰事業 ミドリン商標登録	1,115
緑区制50周年関連事業 小計			18,217
合 計			42,449

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 13,615千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点】 7,410千円

災害に迅速かつ的確に対応できる体制を強化するとともに、行政・地域・団体等が連携し、地震、風水害等の危機に対して日頃から地域や個人で備える取組を推進することにより、緑区全体の危機管理能力を高め、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害時に円滑に行動できるよう区本部運営訓練の実施（1月）
- イ 災害対策本部用の食糧等の購入による計画的な備蓄の実施（1月）
- ウ 災害対策本部の運営や避難所の対応強化にかかる投光器等の必要備品の拡充（6月）
- エ 区職員に対する救命講習を実施することによる緊急時の応急救護体制の確保（10月）
- オ 大地震及び風水害発生時に区役所が迅速に対応できるよう防災研修会の実施（6月、9月）

(2) 地域防災拠点強化事業

- ア 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点、7月、2月の年2回）
- イ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施（3月 緑公会堂）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月19日 緑区役所 21人）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月30日）
- エ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 小中学生等を対象とした啓発事業の実施
- ウ 地域や学校等を対象とした災害図上訓練（Dig・HUG訓練）の実施
- エ 感震ブレーカーの設置や家具の転倒防止対策における啓発の実施

(5) 災害時要援護者支援事業補助金事業

災害時要援護者支援を行う団体に対する補助金の交付

(6) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練及び研修の実施
- イ 災害時医療のぼり旗掲出訓練の実施
- ウ 保健活動グループの訓練の実施

(7) 霧の里防犯防災活動センター運営

2 安全・安心まちづくり推進事業 1,760千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月20日）

イ 活動内容

(ア) 防犯パトロール物品等の提供

(イ) 啓発活動

a 振り込め詐欺防止等キャンペーン

(駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等)

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(2) 地域防犯の強化

自治会や関係団体の防犯担当者を対象に防犯リーダー養成講座を開催（11月）

(3) 子どもの安全・安心【新規】**50**

親子で学べる、子ども向け防犯ワークショップを希望する地域（地区連合単位）で開催（9月～3月）

(4) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで毎日配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子どもたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

2,696千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月17日）

イ 幹事会の開催（5月23日、8月19日、11月1日、2月18日）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

(ア) 新入学児童・園児を交通事故から守る運動（4月5日 中山駅）

(イ) 春の全国交通安全運動（5月10日 十日市場駅）

(ウ) 交通事故死ゼロを目指す日（5月17日 十日市場駅）

(エ) 夏の交通事故防止運動（7月11日 鴨居駅）

(オ) 秋の全国交通安全運動・区民大会（9月20日 緑公会堂）

(カ) 交通事故死ゼロを目指す日（9月30日 中山駅）

(キ) 年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

(ア) 駅前及び交差点での啓発（5月17日 十日市場駅、3月）

(イ) 登校時の高校生への啓発（5月23日 霧が丘高校、5月29日 白山高校）

(ウ) 自転車駐車で啓発（6月 区内4駅自転車駐車場）

ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 交通安全教育・対策

ア 高齢者交通安全教育・対策

(ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催

(6月3日、8月29日、11月7日、2月27日)

(イ) 高齢者向け交通安全教育(交通安全シルバーリーダー研修会)の実施(1月)

イ 児童交通安全教育・対策

はまっ子交通あんぜん教室(児童交通安全教育)の実施

(6月11日 長津田第二小学校、6月14日 竹山小学校、

6月18日 長津田小学校、6月19日 十日市場小学校)

ウ スクールゾーン対策

(ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施(4月24日)

(イ) スクールゾーン対策協議会への助成

(ウ) 電柱巻標識、路面標示の新設・補修

(エ) 横断旗等の配布(2月)

(4) 放置自転車対策

ア 自転車等放置防止対策協議会の開催(7月 区内4駅)

イ クリーンキャンペーンの実施(10月 区内4駅)

4 暮らしの衛生推進事業

1,749千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

ア 飲食店、小学校給食等の営業者・調理従事者に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施

イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施

緑区制50周年食中毒予防啓発コースターの配布(6月頃から)、食中毒予防キャンペーン(8月)、区民食品衛生講座(11月)

ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施(10月)

エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等(秀級施設)の紹介、ステッカーの配付(1月)

(2) 人と動物との共生事業

犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発

飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施(11月)

(3) 安心・快適なくらし推進事業

ア 暮らしの中の虫相談

スズメバチをはじめとした危険な昆虫等の注意喚起講座の開催(8月)

イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（6月）

(ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施やペット用非常持出品等の展示・紹介及び緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発

(エ) ペット同行避難啓発クリアファイルの作成、配布（5月）

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち

24,450千円

5 健康たうん・みどり推進事業

2,930千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりも行います。

(1) 健康づくり月間事業 **50**

ア 健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

イ 区医師会と共催で健康をテーマとした講演会を実施（10月12日）

(2) 思いやり健康づくりの日事業 **50**

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施（9回）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（6回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援（8回）

(4) 緑をたっぷり召し上がれ事業

ア 食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）

イ 区民まつり等既存事業の中で、野菜摂取状況に関する簡易アンケート調査を実施

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

健康習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場において、生活習慣病予防に向けた動機づけを図るための講座を実施（4回）

(6) ミドリウォーキング事業 **50**

ア 地域活動団体等と連携したウォーキングを推進するための各種イベントの実施（12月）

イ ウォーキング関連情報を掲載したウォーキングマップを増刷、配布

6 みどり食育実践推進事業

1,609千円

区民の健康寿命の延伸を目指し、さまざまなライフステージにある区民が、世代にあった「食」に関する正しい知識を持ち、健全な「食」を選択し実践できるよう、食育イベントや体験型食育講座を実施します。

(1) 食育月間キャンペーン **50**

食育月間に合わせ、地域関係団体、学校、企業等と広く連携し、食育講演会及び関連イベントを実施するとともに、緑区制50周年及び食生活等改善推進員会50周年を踏まえ、協働で食育啓発キャンペーンを実施

ア 食育講演会（6月22日 緑公会堂）

講師：黒谷 佳代氏（博士（医学）、管理栄養士）

「今こそ見つめなおそう 次世代につなぐ“食の力”」

イ 食育関連イベント（6月22日 緑区役所）

体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯みがき相談、健康チェック、地場野菜の販売ほか

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座や、各種イベント等を活用した幅広い対象者向けの食育啓発講座を実施

- ア 学校と連携した子ども向け講座の実施
- イ 生活困窮者等を対象に生活習慣病予防のための講座を実施
- ウ 企業等と連携し、働き世代等の若年者を対象とした講座を実施
- エ 地域関係団体及び関係機関向け操作説明会を実施

7 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業

5,414 千円

身近な地域で誰もが安心して暮らしつづけられるよう、共に支えあい、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進するとともに、第4期計画の策定準備も行います。

元年度は、第3期計画（1期5か年）の4年目となることから、第3期計画の振り返りと区民アンケート、関係団体ヒアリング等を行いながら、次期（第4期／2021～2025）計画素案の作成を行います。

また、「緑区の地域福祉保健」をテーマに、緑区制50周年にあわせた記念講演を開催し、福祉の分野でも緑区制50周年を盛り上げていくとともに、第4期計画策定に向けた機運を高めます。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

- ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進・策定委員会の開催（6月、11月、3月）
- イ 地区別計画推進・策定委員会の開催（11地区）
各地区2回以上開催（6月以降1回、10月以降1回、他随時）
- ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月）
- エ 地区別計画の推進のための事業の実施
- オ 計画取組報告（区社会福祉大会において実施）
- カ 第4期計画策定に向けた区民アンケート（4,500人／無作為抽出）、統計基礎資料の作成及び団体ヒアリング（約100団体）の実施

(2) 「みどりのわ・ささえ愛プラン」講演会

歌手の大島花子氏（故・坂本九氏の長女、東洋英和女学院大学出身）を招き、家族の絆や人と人のつながりの大切さ、命の貴さ、そして、次世代につなぐものをテーマに、地域福祉の意義を共感する講演会（トーク&ライブ）を開催します。

また、当日は会場のロビーで、11地区ごとの「みどりのわ・ささえ愛プラン」に関するこれまでの取組をまとめたポスターセッションを行います。（7月4日 緑公会堂）

(3) 民生委員見守り訪問事業

ひとり暮らし高齢者等に対する地域での支えあいと見守り体制を充実するため、民生委員・児童委員による安否確認及び訪問を通じて、地域のイベント等の情報提供を行います。

具体的には、民生委員・児童委員が定期的に電話をかけて安否確認等を行う「ふれあいコール」に対する助成を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

8 あんしん子育てネットワーク事業

7,533千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

ア プレパパ・プレママ教室

土曜・日曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。
(区内の地域ケアプラザ3か所で6回、緑区役所6回)

イ 赤ちゃん教室

0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。
(14か所の会場で各9回 計126回実施)

ウ 歯つらつ1歳児

1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。
(1日コース9回、2日コース3回実施)

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。(個別相談 年15回、スーパーバイズカンファレンス 年2回)

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。(7団体)

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。(メールマガジン毎月1回配信)

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。(3月)

ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット

区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所、幼稚園、小中学校等に配布します。(7月)

エ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。(毎月)

オ 保育施設のご案内

利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内を発行します。(5月、10月)

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- カ 保育所等利用者説明会・個別相談会
保育施設、幼稚園を中心とした説明会・個別相談会を実施します。
(10月24・25日 緑区役所)
- キ 乳幼児健診情報提供
乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。
- ク 放課後3事業情報提供
放課後児童クラブ、放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクールの事業やそれぞれのクラブを紹介するチラシを作成します。

9 保育所すこやか子育て支援事業【重点】

2,721千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。元年度は参加型イベントを拡充して開催し、次世代を担う子どもたちと緑区制50周年をお祝いします。

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり **50**

未就学児とその保護者を対象に、手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できるプログラムを公立園と民間園が共に作り上げ、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

区役所会場に集約し、参加型イベントを拡充して開催します。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会

地域の子育て支援事業実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有することで、地域子育て支援の充実を図ります。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出や、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 園庭開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の園庭開放を実施し、曜日を問わない子育て支援を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

10 DV対策・児童虐待防止事業

745 千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（毎月1回）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修
(2回実施)

11 中学生等キャンパスチャレンジ事業

35 千円

次世代を担う自立した青少年を育成するため、区内及び市内大学等との協働により、通常の教育課程では得られにくい学習や体験機会を中学生等に提供します。

12 青少年地域サポート事業

859 千円

次世代を担う青少年を、より一層健やかに育てる環境づくりや取組推進に向けて地域における青少年健全育成の担い手である区内市民活動団体等による青少年育成活動支援を実施します。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援

(2) 青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

13 高齢者生きがい推進事業

432 千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (1) シルバーフェスティバル等の実施
 - ア シルバーフェスティバル（3月6日）
 - イ 囲碁・将棋大会（12月6日）
- (2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

14 地域のささえ愛事業

449 千円

高齢者や障害者の社会参加を促進するため、緑区社会福祉協議会が独自に行っている、地域の高齢者・障害者が外出する際の移送活動を支援します。

15 高齢者あんしんサポート推進事業

578 千円

認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、警察及び地域包括支援センター等関係機関と連携し、認知症高齢者等SOSネットワーク事業の充実を図るとともに、認知症サポーターを増やすことにより地域のネットワークづくりを進めます。

また、被虐待高齢者を保護する際、特別養護老人ホームなどへ緊急保護を行うにあたり必要となる日用品や通院手段を確保します。さらに、介護予防の観点から高齢者の日常的な外出を促進するため、地域と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

(1) 認知症高齢者等サポート事業

日頃の生活での見守り支援が充実し、認知症高齢者等の行方不明発生時にも見つけやすい地域づくりなどの支援体制を強化します。

また、既存の事業では適用範囲となっていない移送費や日用品費について、虐待や認知症等であることを理由に高齢者を緊急保護する際に一時的に支援します。

ア 認知症高齢者等SOSネットワークへの登録促進

各種講演会等での登録事業の周知

イ 認知症サポーター養成の推進

養成講座の実施支援、認知症キャラバン・メイトのつどい（6月4日、11月）

ウ 認知症のある方や家族に対する支援体制づくり

（介護保険事業所連絡会4か所、地域包括支援センターにおけるケア会議7か所、認知症初期集中支援検討委員会）

エ 在宅高齢者緊急サポート事業

虐待や認知症等であることを理由に緊急保護する際の一時的な費用の支援をします。

(2) 高齢者外出促進事業

高齢者の外出促進に寄与する情報を集約して作成したリーフレットを活用し、地元自治会と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

16 障害者自主製品販売支援事業

545 千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実するとともに、区民の障害への理解を促進します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) 障害者通所施設のネットワーク強化

区内の自主製品販売を行っている施設が集まる場として立ち上げた「日中活動連絡会」を施設とともに開催します。各施設の要望に沿ったテーマについて情報交換や共有を行い、施設間の連携強化を図りつつ、主体的な運営を促します。

(連絡会の開催 7月、10月、1月)

(2) 商品の魅力アップや新製品の開発支援 **50**

引き続き外部アドバイザーとともに意見交換を行い、商品の魅力アップや商品カタログの作成、緑区オリジナル製品の開発を支援します。

(3) 共同販売の推進 **50**

障害者への区民の理解を促進するために、共同販売の場の設定や販路の拡大支援を行います。また、集客力を高めるため、施設とともに販売促進につながるグッズを作成します。

さらに、緑区制50周年に合わせて、障害者週間での共同販売イベントや、障害者の作品展示などを拡大して行います。

17 高校生等自立支援事業

600千円

【前年度：子どもの自立を支える地域ネットワーク事業】

家庭の経済的な問題等により、学習知識や社会経験が不足している高校生等に対し、緑区寄り添い型学習支援事業と連携しながら、将来の就職・進学等の自立に向け、知識や経験を習得してもらうことを目的とした講座を開催します。

(1) 高校生等自立支援講座の開催

経済的に困窮し困難を抱える、生活保護世帯や生活困窮世帯の高校生等を対象に、子どもたちが就学を継続しつつ、将来の自立に向けた一助となるよう、就労や消費活動の知識習得の他、さまざまな体験を得るための「高校生等自立支援講座」を月に1～2回開催します。

※参考【区配事業】

■ 緑区寄り添い型学習支援事業（ミドリンベンきょう会）

◆ 元年度委託法人 特定非営利活動法人 教育支援協会南関東

◆ 高校進学等

○ 対象者 中学生

○ 会場 十日市場地域ケアプラザ、長津田地域ケアプラザ、中山地域ケアプラザ

○ 事業内容 個別学習支援、相談支援

◆ 高校中退防止

○ 対象者 寄り添い型学習支援事業の卒業生や生活困窮世帯の高校生

○ 会場 十日市場地域ケアプラザ他

○ 事業内容 居場所の提供、スタッフによる学習指導や相談支援

■ 高校生世代支援事業（元年度モデル事業）

○ 対象者 高校に通学・在籍することに限定せず、おおむね15歳から18歳

○ 事業内容 情報提供や体験機会の提供

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

③ みどりの魅力あふれるまち 59,808千円

18 緑区制50周年記念事業【重点】 12,532千円 【前年度：緑区制50周年準備事業】

10月に緑区制50周年を迎えるにあたり、区民とともに50周年を祝うため、実行委員会主催の記念事業を実施するとともに、区民に向けたPRを展開します。

(1) 緑区制50周年記念事業

- ア 参加型アートイベント「わらアート」(11月～12月頃)
- イ 子どものまちづくりイベント(8月24日・25日)
- ウ 緑区制50周年記念誌の発行(3月)

(2) 50周年PR事業

PRグッズの作成等

(3) 緑区制50周年記念事業実行委員会の開催

実行委員会の開催(7月、3月)

19 緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業 700千円

人生の節目となる婚姻届・出生届を出された方に、緑区制50周年のPRとともに結婚・出産のお祝いを記載したメッセージカードを配付し、区民とともに祝う機運を高めます。(12月まで)

20 住み続けたいふるさと緑区事業【新規・重点】 11,000千円

緑区制50周年を記念して、「住み続けたいふるさと緑区」を共通のテーマとし、区内の公共構造物への壁画製作、記念植樹の実施及びオリジナルデザインマンホールの設置を行います。

(1) ふるさと緑区壁画事業

次世代を担う緑区内の小中学生が、自分たちの暮らすまちの魅力や未来をテーマとした壁画を公共構造物(道路施設、公園施設)に描きます。

- ア 小中学校との調整(4月～6月)
- イ 壁画作成(7月～12月)

(2) ふるさと緑区植樹事業

区内11の連合自治会と協働で緑区制50周年を記念する植樹を実施します。

- ア 記念植樹業務委託の発注・契約(4月～5月)
- イ 各連合自治会との調整(5月～12月)
- ウ 記念植樹の実施(9月～12月)

(3) ふるさと緑区デザインマンホール設置事業

次世代を担う緑区内の小学生から緑区の魅力や将来像をテーマとしたデザイン案を募り、学校付近の歩道にデザインマンホールを設置します。

- ア 区内小学校とデザイン案の調整(4月～5月)
- イ デザインマンホールの製作、設置個所の検討(6月～9月)
- ウ デザインマンホールの設置(10月～12月)

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

21 身近で親しみやすい水辺環境づくり事業 2,340 千円 【前年度：親しまれる水辺環境づくり事業】

梅田川・岩川沿いに、河川周辺マップ・みどころ案内・洪水ハザード情報等を複合的に掲載した看板の設置を進め、水辺環境の魅力アップや地域防災意識の向上を図ります。

(1) 案内看板の設置事業（梅田川）

- ア 看板デザイン及び設置箇所の確認（6月）
- イ 看板の製作・設置（7月～11月）

22 魅力ある公園づくり事業 450 千円

区内の公園には特色ある複合遊具、健康遊具等の様々な遊具が設置されています。これらの魅力を発信するため、現在発行している緑区公園マップについて、公園の追加、紹介内容の更新を行います。

(1) 緑区公園マップの更新

- ア 公園マップ更新用データ・写真整理（4月～6月）
- イ 印刷・製本委託の発注（6月～8月）
- ウ 公園マップの更新・印刷（8月～11月）

23 みどり！まるごと応援事業 3,415 千円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信していきます。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力を発信する動画の配信のほか、自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めます。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」の実施を通じて地域の活動を応援します。

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ウェブサイト等で定期的に動画を配信することで、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えます。（2本配信）

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信や農家と飲食店との交流会等の実施により、よこはま地産地消サポート店登録数を増やし、飲食店の地産地消を進めます。

(交流会 6月12日、ほか3回実施)

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピコラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。

オ 地産地消講座

区内の畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。(6月8日、ほか2回実施)

(2) みどり！魅力再発見事業 **50**

ア フォトワークショップ

緑区への関心を高めるため、区内小学生向けフォトワークショップを開催しました。

(5月11日 東京工業大学すずかけ台キャンパス 小学生11人)

イ 緑区遺産

区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行するほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援します。

また、緑区遺産を巡るウォーキングイベントを実施し、事業PRを図ります。

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらい、所有者に対し奨励金を支払います。

なお、空き家・空き店舗を活用した施設を設置する際には、SDGs未来都市地域主体型事業「地域のつながりづくり推進事業」(P.24)により、備品等の整備費助成を行い、施設の設置を促進します。

24 みどり地域まちづくり推進事業

1,928千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区、霧が丘地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりを、専門家派遣等により支援します。また、新たな地区での支援についても、地域の要請に応じ対応します。

改定から5年が経過する「緑区まちづくり計画」について、進捗状況の点検および社会情勢の変化等に伴う現状の課題抽出調査を行います。

(2) みどころ案内サイン

既存のみどころ案内サインを点検し、必要に応じた改修を行います。

25 読書活動推進事業

300千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) 本に親しむ環境づくり

- ア 青少年及び成人を対象とした講演会の開催（8月7日・11月）
- イ 区民まつりにおける読書啓発イベント「本の交換会」（10月20日）
- ウ 緑図書館でCDブックの貸出
- エ 赤ちゃん絵本セット貸出
- オ まちライブラリー事業
- カ 読書まっぷの配布

(2) 家庭・学校・地域での読書活動推進

- 区内読書関連施設との読書活動推進連絡会の開催（2回）
- 絵本や読み聞かせ団体のネットワーク支援・イベント開催（5月14日～17日）

(3) ボランティアの育成と地域のつながりづくり

- 読書活動に係る中高生ボランティア育成のための講座実施（8月2日）

26 子ども達の夢の緑区推進事業

1,314 千円

平成21年の緑区制40周年を記念して区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿「夢みどり50プラン」の実現に向けて、50プランに描かれた7つの「ねがい」に基づき、小・中学校と連携して取組を進めていきます。

緑区制50周年となる元年度は、事業終結年度としてこれまでの活動の集大成となるよう、小・中学校との連携をより一層深めていきます。

(1) 学校の取組支援事業 **50**

ア 夢みどりリーダー会議

- 参加者 区内の全小・中学校の代表児童・生徒
- 内容 中学校ブロックごとに未来の緑区に向けたメッセージを話し合い決定します。事業終結に向けて、これまでの取組の集大成となるよう、小・中学校と共に進めていきます。

イ 地域団体と連携した地域清掃活動

竹山小学校（全校生徒 約250人）

(2) ふれあい交流事業 **50**

区民まつりに携わる小中学生ボランティアを一般公募し、地域の人とのふれあいやボランティア活動を実践する場を提供します。（10月）

27 緑・芸術文化事業

2,523 千円


緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供に取り組みます。

また、緑区制50周年を記念した取組を進めるため、区内芸術文化団体・機関と連携していきます。

(1) 緑・芸術祭事業

- ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(ア) 緑区制 50 周年記念中学生合唱団 
練習 12 回 (4 月～10 月)
山田和樹指揮 東京混声合唱団特別演奏会へゲスト出演 (8 月 23 日 県立音楽堂)
東京混声合唱団・中学生合唱団「緑区制 50 周年記念コンサート」開催
(10 月 27 日 緑公会堂)

(イ) 緑区民音楽祭ふれあいコンサート
第 136 回「音楽の贈りもの」千住真理子ほか (5 月 5 日 緑区民文化センター)

(ウ) 「緑区コーラスのつどい」 (11 月 10 日 緑区民文化センター)

(エ) 「創造と森の声 2019」 (5 月～9 月 横浜動物の森公園 植物公園予定地)

イ 区が主催する事業

「サークルミニギャラリー」 (年 8 回 緑区役所)

ウ 緑区民文化センターとの連携事業

「お昼のロビーコンサート」 (年 4 回 緑区役所)

エ 公募事業に対する支援 (15 事業)

(2) 交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の交流・育成を図ることを目的として「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をします。

(年 4 回 緑区役所)

28 3R 推進事業

2,146 千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開していきます。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催 (5 月 20 日)

(2) 3Rの普及・啓発

ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催

イ 店頭キャンペーン (年 4 回)

ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発

エ 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発

オ 緑ECO通信の自治会班回覧 (年 2 回)

カ 転入者向け啓発・分別相談 (原則として毎週水曜日 緑区役所)

キ 不用品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理

ク 衣類 (子ども服) のリユースを開催 (6 月 1 日、11 月)

(3) リユース食器の利用・促進

リユース食器利用促進補助金の交付

29 きれいなまちづくり事業

2,151 千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) 花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽（5月11日・21日、11月）

(2) 地域ふれあい活動事業


- ア 地域清掃活動団体への支援
- イ 不法投棄対応

(3) 駅さわやか活動事業

- ア 美化推進重点地区（中山駅、十日市場駅周辺）及び区庁舎周辺の清潔保持
 - （ア）中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃を実施（5月24日、11月22日）
 - （イ）区職員による区庁舎周辺早朝清掃（8月、12月を除く毎月第4金曜日）
- イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催（年6回）
 - 中山駅（5月24日、11月22日）周辺早朝清掃と同時実施
 - 長津田駅（6月26日）、鴨居駅（6月27日）、十日市場駅（6月28日、11月）

30 足を運んでみよう！商店街事業


1,308 千円

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えることとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営する「緑区商店街ポイントラリー」を、緑区制50周年記念イベントとして23日間開催します。（10月5日～27日） 

31 区民まつり事業

4,900 千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施します。

10月に緑区制50周年を迎えるため、例年のイベントに加え、横浜音祭りと連携したイベントや緑区制50周年を記念するイベントを開催することで、区民の皆さまと一緒に祝います。 

○開催日時

10月20日 10時から15時まで

○会場

県立四季の森公園

○主催

緑区民まつり実行委員会

○テーマ

- あゆみ 育む ふるさと みどり ～次世代につなぐ区民まつり～
- ・安全・安心なまつり
 - ・いきいき健康まつり
 - ・みどりの魅力あふれるまつり

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

○実施内容

・ステージイベント

区民発表型イベントのほか、主催者枠で次の内容を実施

北部4区のマスコットキャラクターによる緑区の誕生からの歩みなどの寸劇

横浜音祭りとの連携による音楽とダンスが融合したステージイベント

横浜市消防音楽隊による演奏

・サブイベント・出店

参加型イベントや集客力のある催しもの及び各種団体の活動PR、啓発活動、飲食や物品の販売等の出店

・3R環境行動の取組・普及啓発に関する出店・各種イベント

32 地域振興事業

1,935千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切にし、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催（3月）

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向けたこれまでの画一的な支援だけでなく、その地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。

33 市民活動パワーアップ支援事業

2,872千円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどり一む」を拠点として、みどり一む運営委員会（5つの部会で構成）との協働により区民主体で緑区制50周年を記念した取組となる事業を企画・実施します。

また、みどり一む開設10周年を契機として発足した、未来のみどり一むを考える「みどり一むネクスト」における新たな取組を引き続き進めます。

(1) 市民活動セミナー等の開催 **50**

ア 市民活動セミナー（2回）

イ 地域福祉セミナー（1回）

ウ 防災・減災講座（2回）

エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座（8月）等

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (2) 市民活動団体交流事業の開催 **50**
 - ア Open!みどリーむ (2回)
 - イ みどり市民活動交流会 (9月)
 - ウ みどリーむまつり (3月)
 - エ サロンふらっと (毎月第3日曜日)
- (3) 地域の国際交流事業の開催 **50**
 - ア 国際交流イベント
日本文化体験会、交流会、日本語発表会など
 - イ 日本語ボランティア養成講座
 - ウ ウェルカムキットの配布 (戸籍課で配布)
- (4) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催 **50**
 - ア 生涯学級 (「横浜線ものがたり」「自然を楽しむ講座」(4月～6月)ほか
2学級)、家庭教育学級「イキイキおかあさん」
 - イ 生涯学習グループ交流会・研修会の実施
- (5) 緑区地域施設間連携会議 **50**
 - ア 緑区地域施設間連携会議 (2回)
 - イ 施設間連携スタンプラリーの実施 (7月～9月)
- (6) パソコン相談コーナーの運営
 - ア 「めだかの学校」の設置・運営
(緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日)
 - イ パソコン初心者対象の講習会「めだか塾」の開催 (毎月4回)
- (7) IT講習会の開催
 - ワード講習、エクセル講習等 (年6回 各地区センター)

34 みどりスポーツ推進事業

1,981千円

区民の健康づくりとスポーツの盛んなまちづくりが一層進むよう、地域スポーツ関係団体の取組支援、区民が身近で気軽にスポーツを楽しめるイベント等を開催します。

また、「ラグビーワールドカップ2019™」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」を緑区から盛り上げ、緑区制50周年と連動した事業を展開します。

- (1) みどりスポーツフェスティバル
緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区体育協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援 (6月23日 緑スポーツセンター)
- (2) ラグビーワールドカップ・オリンピック・パラリンピック推進事業 **50**
 - ア 「ラグビーワールドカップ2019™」、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を見据え、市民が新たなスポーツに触れる機会や実際のトップ選手との交流ができるようなイベントの実施 (年3回)
 - イ 緑区ランニングフェスタ2019の開催 (12月)
 - ウ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル
- (3) 緑区体育協会事業
加盟する各団体等 (16団体、3関連団体) の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

35 広報・広聴事業

1,881 千円

【前年度：区民への情報提供事業】

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるため、ガイド・防災マップを作成するほか、ホームページ等を活用し、様々な広報活動を実施します。

また、区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するため、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握します。

(1) みどり区ガイド・防災マップの発行

(2) 広報スキルアップ研修

(3) 緑区役所意見箱の運営

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

(4) 「ふれ愛♡トーク」の開催

みどり区内で活躍している団体と区長が懇談し、具体的な活動内容や思いについて広報やホームページ等で紹介していきます。

36 区民から親しまれる区役所づくり事業

4,132 千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する接遇向上研修を実施し、スキルの向上を図ります。(10月～11月)

(2) 人権啓発・職員研修事業 **50**

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業 **50**

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、区長表彰を行います。また、今年は「緑区こもれび躍るふれあいのまちづくり顕彰」の表彰を緑区制50周年式典の中で実施します。これまで表彰を受けた方々もお招きし、多くの区民とその活躍を称え、祝います。

(4) 緊急的課題への対応

来庁する区民の皆様が快適に過ごしていただけるように庁舎の美化・緑化を進めるとともに、より利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、緊急的課題に対応していきます。

(5) ミドリン商標登録 **50**

ミドリン商標の更新(画像)及び新規登録(名称)を行います。

令和元年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

SDGs 未来都市推進事業

1,000千円

SDGs 未来都市地域主体型事業

地域のつながりづくり推進事業

1,000千円

自治会等の地域団体が、空き家、空き店舗を活用して、地域福祉保健計画地区別計画や地域が自ら策定した計画等に基づいて地域で取り組まれている各種活動の拠点やサロン・カフェといった住民が気軽に立ち寄れるスペースを設置する際に、必要な備品等の整備にかかる費用を助成します。

また、自主企画事業「地域のつながり施設設置事業」により、地域団体の設置場所確保を支援し、拠点等の設置を促進します。